SANNOHE TOWN TOPICS STONE STO

表为意识

2/27 三戸土曜塾閉塾式

ふるさとへの感謝の気持ちを忘れずに

学力向上を目指す子どもたちに、元教員などがボランティアで学習指導する三戸土曜塾の閉塾式が中央公民館で行われました。令和2年度は、町内の小中学生38人が通い、受験勉強に励んだり、立志科で郷土の歴史や文化などを学びました。



三戸土曜塾の会の大庭礼子会長は「ふるさと三戸に誇りを持ち、自分の愛するふるさとのために恩返しできるような人になってほしい。たとえよい結果に繋がらなかったとしても、努力は決して無駄にならないことを忘れないでください」と塾生に激励の言葉をおくりました。

渡部愛華さん(小中一貫三戸学園三戸中9年生)は「最初は基礎問題も分からないことがあり勉強していくうちに、応用問題も解けるようになり嬉しかった。高校でも学んだことを生かしていきたいです」と一年を振り返りました。



^{3/3} 寿教室で「町長お話会」

健康に暮らせる町を目指しましょう

60 歳以上の高齢者を対象に、生きがいと健康づくり、仲間づくりの推進を目的としている三戸町高齢者学級「寿教室」の学習会として、「町長お話会」がジョイワーク三戸で行われました。

松尾和彦町長は、健康診断の大切さや、全国でも有名な「いきい

き百歳体操」の取り組みや三戸町地域公共交通の見直しなどについて、参加人の前で講話を行いました。 参加者は、松尾町長の講話に熱心に耳を傾け、町の施策などについて学びました。講話後、三戸町のプロモーション映像が上映され、参加者は、いつもの見慣れた風景が切り取られた映像に見入っていました。 寿教室学級長の川村妙子さんは「町長の講話を聞いて、健診の大切さを改めて思うことができました」と感謝の言葉を述べました。

3/4 照井たみさん、百歳顕彰

いつまでもお元気で

照井たみさん(大正 10 年 3 月 4 日生まれ)が、めでたく 100 歳の誕生日を迎えました。長男の照井順治さん(81 歳)が役場を 訪れ、松尾和彦町長から顕彰状と記念品として、たみさんと同じ年 代を生きてきた町内にある樹齢 100 年の紅玉から作った地域商社



SANNOWAの百年紅玉ジュース2本を受け取りました。たみさんは、結婚して2人の子宝を授かり、孫3人、ひ孫2人にも恵まれています。踊りが大好きで、若い頃、城山の桜まつりで踊りを披露し、仮装行列にも参加していました。「好き嫌いなく食べていたことで元気にいられたのだと思います」と、元気のひけつについて順治さんは話していました。後日、特別養護老人ホーム鶴亀荘で、お誕生日会が行われ、長寿を祝いました。







^{2/22} ほほえみ三戸に防災用設備を設置

全国有数の防災用設備で安全性がより向上

社会福祉法人仁正会(諏訪内三千雄理事長)は、町内で運営する 老人保健施設ほほえみ三戸に、LP ガスを燃料とする防災用自家発電設備を設置しました。この設備は、10日ほどの電力を賄うことができ、同様の設備としては全国最大級の規模となっています。

松尾和彦町長は「地域の安全性がより向上し、設備を設置してくれたことに感謝している」と話しました。諏訪内理事長は「住民の緊急避難所として、人の命を守れるような施設にしたい」と話しました。

3/2 町出身の大学生に特産品を発送

ふるさとの味を届けて学生を応援

ふるさと三戸町を離れて学ぶ学生を応援するため、せんべいやリンゴジュースなどが入った地元の特産品詰め合わせの発送式が三戸町役場前で行われました。特産品詰め合わせは、大学、大学院、短大、専門学校、高専(4年生以上)に通う140人の学生に向けて発送され



ました。松尾和彦町長は「ふるさとのおいしいものを届け、地元の人たちが応援しているという声を伝えたい。自分たちの将来に向けて頑張ってほしいと思っています」と話しました。



3/3 [11 ぴきのねこ] と「アウトドアプロダクト」がコラボ

3種類のバッグを郵便局で販売

町出身の漫画家故・馬場のぼるさんの人気絵本「11 ぴきのねこ」(こぐま社刊)と雑貨ブランド「アウトドアプロダクト」のコラボグッズ第3弾が発売され、東北地方の郵便局で限定販売しています。グッズは、デイパック(限定 400 個)、ショルダーバッグ(限定 500 個)、

ボディーバッグ(限定 200 個)の 3 種類。春らしいアースカラーの色合いで、絵本「11 ぴきのねこ ふくろのなか」で遠足に出かけているねこたちのイラストがデザインされています。三戸郵便局(橋本正俊局長)は、役場を訪れ「春になったら多くの人にバッグを持って出かけてほしい」と話し、松尾和彦町長にグッズー式を手渡しました。松尾町長は「春のような色合いと 11 ぴきのねこが、お出かけを楽しくしてくれる」と話しました。詳しくは、三戸郵便局まで(金 22-2363)

3/26 三戸ライオンズクラブが寄贈

子どもたちの教育に図書カードを役立てて

三戸ライオンズクラブ(泉山真一会長)は、町内の新1年生に 図書カード46枚を寄贈しました。この活動は、今年で4回目となります。泉山会長は「子どもたちに本を読んでもらうことで、視野を広げ、考える力を身につけてほしい」と話し、友田博文教育長に



図書カードを手渡しました。友田教育長は「読書が好きな子どもたちが増えてくれると嬉しい。教育に役立てていきます」とお礼の言葉を述べました。



3/30 デマンドタクシー運行開始セレモニー

便利な乗り合いタクシーが運行を開始

公共交通を利用しづらい地域において運行する交通サービス「三 戸町デマンドタクシー」の運行開始セレモニーが、三戸町役場前で 行われました。

このタクシーは、町の中心部を訪れる際に複数人と乗り合いで利



用できる交通サービスで、田中タクシーが蛇沼、杉沢・貝守地区を、三戸タクシーが斗川、大舌、目時、 遠藤・小中島地区を担当します。運行日は火、木、土曜日の週3回で、利用するには、役場での事前 登録と、利用したい日の前日 17 時までにタクシー事業者への予約が必要になります。

当日の行きは、午前9時台に予約した人の自宅へ迎えに行き、指定場所(三戸郵便局、三戸町役場、 三戸中央病院、イオンタウン三戸の4か所)まで送ります。帰りは、13時半頃に指定場所まで迎えに行き、 自宅まで送ります。 1 日 1 回の往復で、1 乗車一人あたり 500 円、往復で利用すると一人あたり 1,000 円の料金となります。

松尾和彦町長は「非常に利便性の高い公共交通として、ぜひ利用してほしい」と呼びかけました。田 中タクシーの田中博康代表は「安心して利用してもらえるように、新型コロナウイルスの感染防止に気 をつけて運行したい」、三戸タクシーの小笠原光一常務は「買い物などで気軽に使っていただきたい」 と話しました。



鳥獣供養祭

鳥獣の供養と安全を祈願

(一社) 青森県猟友会三戸支部 (奥政憲支部長) は、法泉寺で鳥 獣供養祭を行いました。供養祭には、関係者約30人が参列し、こ れまで捕獲した鳥獣の供養と、農業などへの鳥獣被害の減少や安 全を祈願しました。奥支部長は「これからも事故なく、安全第一で

活動していきたい」と力を込めました。供養祭後、松尾町長から新規隊員4人を含む35人に対して、 鳥獣被害対策実施隊の任命書の交付式が行われました。(一社)青森県猟友会三戸支部では、一緒に活 動する会員を募集しています。【問合せ】(一社)青森県猟友会三戸支部 ☎ 090-6621-9720

4/7 三戸郵便局、新商品を寄贈

作者・馬場のぼるさんの墓前に報告

三戸郵便局(橋本正俊局長)は、町出身の漫画家である故・馬場のぼ るさんの人気絵本 [11 ぴきのねこ] シリーズをデザイン化したダイカッ トカード(変形はがき)と多機能ボールペンを、馬場のぼるさんの命日 である4月7日、町に寄贈しました。変形はがきは「11 ぴきのねこ」





シリーズ 6 作品から、それぞれ 11 ぴきが描かれているイラストを使用。 多機能ボールペンは「11 ぴきのねことへんなねこ」のワンシーンを 採用しています。変形はがきは、単品 275 円(税込)で限定 500 枚、 6枚セット 1,650 円で限定 1,000 セット販売され、多機能ボールペンは、 770円(税込)で限定 2.000 本販売されます。

橋本局長は「馬場先生の描いた絵本の世界を大切にし、今後も商品を 企画していきたい」と話し、松尾町長に新商品を手渡しました。